

(1) 張 碓 橋 全 景。

張 碓 橋 架 設 概 要

北海道廳札幌土木事務所長 杉 森 文 彦

序 言

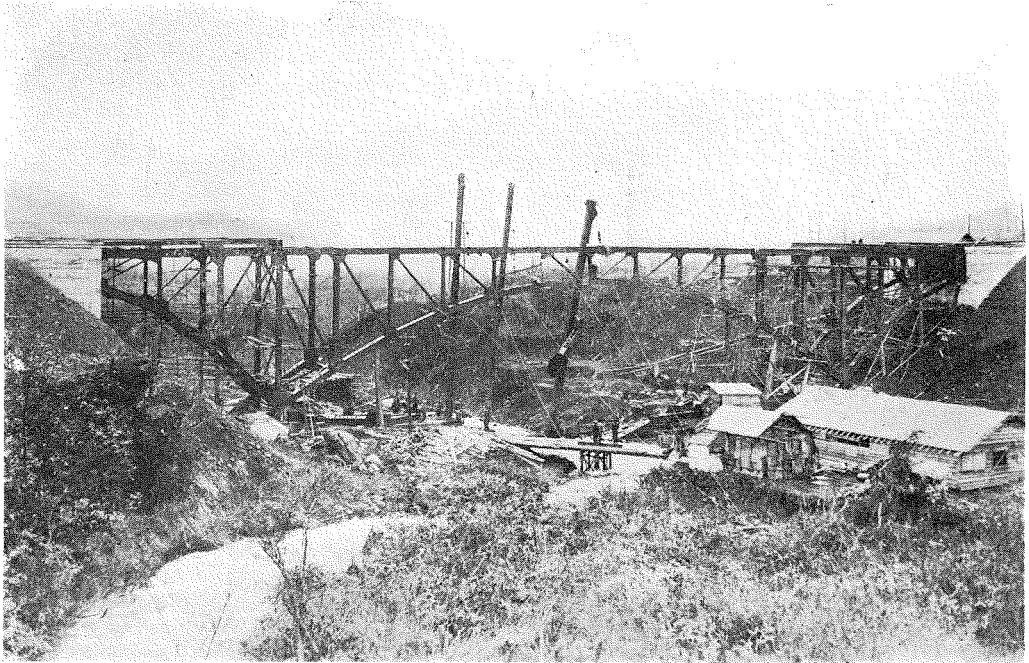
昭和六年失業救済工事起工せられ國道4號線小樽函間道路改良工事着手以來茲に三ヶ年の星霜を経て、漸く其の開通を見るに至り、本橋は昭和七年度に於て張碓川に架設せられたのである。張碓川は水量は小なるものであるが深谷なる爲め諸種の工法を考へられたが該地域が將來景勝地として有望視されてゐる關係上橋梁の外観美と環境との對稱を考慮し茲に拱橋を撰定架設する事とした。

工事設計概要

(1) 位 置 北海道小樽郡朝里村大字張

碓村

- (ロ) 路 線 名 國道四號線
- (ハ) 河 川 名 張碓川
- (ニ) 施 工 者 北海道廳札幌土木事務所
(下部構造)
函館市船渠株式會社 (上部
構造製作及架設)
- (ホ) 橋 長 全長 72.27 米内拱徑間48米
- (ヘ) 有効幅員 7.5 米
- (ト) 型 式 バランスドアーチ (Balanced Tied-arch)
- (チ) 設計荷重 内務省道路構造細則第二種荷重
- (リ) 橋 臺 扶壁付 鐵筋混凝土造2基



(2) 張 碓 橋 架 設 状 況。

- (ヌ)橋 脚 鐵筋混凝土造 4 基
 (ル)橋 面 鐵筋混凝土厚15糎
 ビチューマルス鋪裝厚 6 糎
 縱斷勾配1/76 橫斷勾配1/33
 (ヲ)高 欄 地覆は花崗岩(幅22糎厚12
 糎)北海道十勝産を用ひ束
 柱及透金手摺は鑄鐵製金物
 にして濃綠ペイント塗とせり。
 (ヅ)親 柱 80糎角施行基面より 1.25米
 (十勝産)
 (カ)工事期間 工事着手 昭和 7 年11月
 工事竣功 昭和 8 年 3 月
 (ヨ)工費及請負者 橋脚、橋臺及取付道路
 費45,122,00圓直營
 上部構造(鋼材及架設費)
 47,000,00圓(函館船渠株式
 會社)
 床版工 10,915.05 圓(此の
 内に官給セメントを除く)

地崎組

施工順序及其の概況

昭和七年十一月に本工事に着手したが何分北海道の十一月は積雪多く地表氷結して橋脚橋臺の根堀も意の如く進捗し難かつたのであるが幸に地質良好なりしたため水中工事少なく何等特殊な工法も用ひずして所定の深さ迄堀下げる事が出来た。

混凝土作業は完全なる防寒小屋を作り中に 2 臺のストーブを設置して常に攝氏 5 度以上保温する様にし混凝土用材はボイラーを使用して水、碎石、砂を充分熱し然る後混合する事にしたのであるが養生其他宜しきを得其の結果は良好であつた。

斯くて下部構造を終へ上部鋼材架設工事は請負者の手に渡さして始め鐵脊を据付け兩側の結構を完結して中央拱橋部に移る肘木式架設法によつたのである。

(了)